

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】令和 1 年 5 月 30 日 (2019.5.30)

【公表番号】特表 2019-511064 (P2019-511064A)

【公表日】平成 31 年 4 月 18 日 (2019.4.18)

【年通号数】公開・登録公報 2019-015

【出願番号】特願 2018-551863 (P2018-551863)

【国際特許分類】

G 0 6 F 21/62 (2013.01)

【F I】

G 0 6 F 21/62 3 4 5

【手続補正書】

【提出日】平成 31 年 4 月 1 日 (2019.4.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

アプリケーションに含まれるユーザ情報を隠すための方法であって：

アプリケーション内のメディアファイルの属性リストに対する操作権を取得するステップ (S 1 0 1) と；

前記アプリケーション内の前記メディアファイルの前記属性リストを読み取り、前記アプリケーション内で生成されたユーザ情報を、前記メディアファイルの前記属性リストに書き込むステップ (S 1 0 2) と；

前記メディアファイルを再保存するステップ (S 1 0 3) と；を備える、
アプリケーションに含まれる情報を隠すための方法。

【請求項 2】

前記ユーザ情報は取扱いに注意を要する秘密の情報を含む、
請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記アプリケーション内のメディアファイルの属性リストに対する操作権を取得するステップは：

前記アプリケーション内の前記メディアファイルのファイルハンドルを取得するステップと；

前記メディアファイルの前記ファイルハンドルを用いて、前記アプリケーション内の前記メディアファイルの前記属性リストに対する読み取り / 書き込み許可を取得するステップと；を備える、

請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記アプリケーション内で生成されたユーザ情報を、前記メディアファイルの前記属性リストに書き込むステップは：

前記アプリケーション内で生成された前記ユーザ情報を、キー値ペアの形式で前記メディアファイルの前記属性リストに書き込むステップを備える、

請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

前記メディアファイルは、写真ファイル、音声ファイル、及び映像ファイルのいずれか

1 つを含む、

請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

前記ユーザ情報は、暗号化されたユーザ情報である、
請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

前記アプリケーション内で生成されたユーザ情報に対して論理処理を実行するステップを更に備え、

前記アプリケーション内の前記メディアファイルの前記属性リストを読み取り、前記アプリケーション内で生成されたユーザ情報を、前記メディアファイルの前記属性リストに書き込むステップは、

前記アプリケーション内の前記メディアファイルの前記属性リストを読み取り、前記アプリケーション内の論理処理されるユーザ情報を、前記メディアファイルの前記属性リストに書き込むステップを備える、

請求項 1 乃至請求項 6 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 8】

前記アプリケーション内で生成されたユーザ情報に対して論理処理を実行するステップは：

前記アプリケーション内で生成された前記ユーザ情報に対して可逆的な論理処理を実行するステップを備える、

請求項 7 に記載の方法。

【請求項 9】

前記アプリケーション内で生成されたユーザ情報に対して論理処理を実行するステップは：

対称暗号アルゴリズムを用いて前記アプリケーション内で生成された前記ユーザ情報に対して対称暗号化処理を実行するステップを備える、

請求項 7 に記載の方法。

【請求項 10】

異なるアプリケーションシナリオで生成されたユーザ情報を、異なるメディアファイルに書き込むステップと；

前記異なるメディアファイルを再保存するステップと；を更に備える、

請求項 1 乃至請求項 9 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 11】

前記メディアファイルを再保存するステップは、前記メディアファイルを前記アプリケーションのインストールパスに格納するステップを備える、

請求項 1 乃至請求項 10 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 12】

アプリケーションに含まれるユーザ情報を隠すためのデバイスであって、請求項 1 乃至請求項 11 のいずれか 1 項に記載の方法の動作を実行するように構成された複数のモジュールを備える、

アプリケーションに含まれるユーザ情報を隠すためのデバイス。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0078

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0078】

上述のものは本願の一実施形態に過ぎず、本願を限定するものではない。当業者は、本願に様々な修正及び変更を加えることができる。本願の主旨及び原理から逸脱せずに為されるあらゆる修正、均等物による代替、改善は、本願の特許請求の範囲に含まれるもので

ある。

以下、本発明の実施の態様の例を列挙する。

[第 1 の局面]

アプリケーションに含まれるユーザ情報を隠すための方法であって：

アプリケーション内のメディアファイルの属性リストに対する操作権を取得するステップと；

前記アプリケーション内の前記メディアファイルの前記属性リストを読み取り、前記アプリケーション内で生成されたユーザ情報を、前記メディアファイルの前記属性リストに書き込むステップと；

前記メディアファイルを再保存するステップと；を備える、

アプリケーションに含まれる情報を隠すための方法。

[第 2 の局面]

前記ユーザ情報は取扱いに注意を要する秘密の情報を含む、

第 1 の局面に記載の方法。

[第 3 の局面]

前記アプリケーション内のメディアファイルの属性リストに対する操作権を取得する前記ステップは：

前記アプリケーション内の前記メディアファイルのファイルハンドルを取得するステップと；

前記メディアファイルの前記ファイルハンドルを用いて、前記アプリケーション内の前記メディアファイルの前記属性リストに対する読み取り / 書き込み許可を取得するステップと；を備える、

第 1 の局面に記載の方法。

[第 4 の局面]

前記アプリケーション内で生成されたユーザ情報を、前記メディアファイルの前記属性リストに書き込む前記ステップは：

前記アプリケーション内で生成された前記ユーザ情報を、キー値ペアの形式で前記メディアファイルの前記属性リストに書き込むステップを備える、

第 1 の局面に記載の方法。

[第 5 の局面]

前記メディアファイルは、写真ファイル、音声ファイル、及び映像ファイルを含む、

第 1 の局面に記載の方法。

[第 6 の局面]

前記ユーザ情報は、暗号化されたユーザ情報である、

第 1 の局面に記載の方法。

[第 7 の局面]

アプリケーションに含まれるユーザ情報を隠すための方法であって：

アプリケーション内のメディアファイルの属性リストに対する操作権を取得するステップと；

前記アプリケーション内で生成されたユーザ情報に対して論理処理を実行するステップと；

前記アプリケーション内の前記メディアファイルの前記属性リストを読み取り、前記アプリケーション内の論理処理されるユーザ情報を前記メディアファイルの前記属性リストに書き込むステップと；

前記メディアファイルを再保存するステップと；を備える、

アプリケーションに含まれる情報を隠すための方法。

[第 8 の局面]

前記ユーザ情報は取扱いに注意を要する秘密の情報を含む、

第 7 の局面に記載の方法。

[第 9 の局面]

前記アプリケーション内のメディアファイルの属性リストに対する操作権を取得する前記ステップは：

前記アプリケーション内の前記メディアファイルのファイルハンドルを取得するステップと；

前記メディアファイルの前記ファイルハンドルを用いて、前記アプリケーション内の前記メディアファイルの前記属性リストに対する読み取り／書き込み許可を取得するステップと；を備える、

第 7 の局面に記載の方法。

[第 1 0 の局面]

前記アプリケーション内で生成されたユーザ情報を前記メディアファイルの属性リストに書き込む前記ステップは：

前記アプリケーション内で生成された前記ユーザ情報を、キー値ペアの形式で前記メディアファイルの前記属性リストに書き込むステップを備える、

第 7 の局面に記載の方法。

[第 1 1 の局面]

前記メディアファイルは、写真ファイル、音声ファイル、及び映像ファイルを含む、

第 7 の局面に記載の方法。

[第 1 2 の局面]

前記ユーザ情報は、暗号化されたユーザ情報である、

第 7 の局面に記載の方法。

[第 1 3 の局面]

前記アプリケーション内で生成されたユーザ情報に対して論理処理を実行する前記ステップは：

前記アプリケーション内で生成された前記ユーザ情報に対して可逆的な論理処理を実行するステップを備える、

第 7 の局面に記載の方法。

[第 1 4 の局面]

前記アプリケーション内で生成されたユーザ情報に対して論理処理を実行する前記ステップは：

対称暗号アルゴリズムを用いて前記アプリケーション内で生成された前記ユーザ情報に対して対称暗号化処理を実行するステップを備える、

第 7 の局面に記載の方法。

[第 1 5 の局面]

アプリケーションに含まれるユーザ情報を隠すためのデバイスであって：

アプリケーション内のメディアファイルの属性リストに対する操作権を取得するように構成される取得モジュールと；

前記アプリケーション内の前記メディアファイルの前記属性リストを読み取り、前記アプリケーション内で生成されたユーザ情報を前記メディアファイルの前記属性リストに書き込むように構成される読み取り／書き込みモジュールと；

前記メディアファイルを再保存するように構成される保存モジュールと；を備える、

アプリケーションに含まれるユーザ情報を隠すためのデバイス。

[第 1 6 の局面]

前記デバイスは：

前記アプリケーション内で生成された前記ユーザ情報に対して論理処理を実行するように構成される論理処理モジュールを更に備える、

第 1 5 の局面に記載のデバイス。